

2025 春季生活闘争ニュース

2025.7.3 — 第 23 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2025 春季生活闘争 第 7 回回答集計結果について

連合本部は、2025 春季生活闘争につき、7 月 1 日（月）10 時の時点で取りまとめた最終の回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した5,599組合中5,475組合が妥結済み（97.8%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は3,189組合・58.2%で、比較可能な2013闘争以降では組合数・割合とも最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した5,162組合の加重平均（規模計）は16,356円・5.25%（昨年同時期比1,075円増・0.15ポイント増）となった。1991年(5.66%)以来33年ぶりの5%超えであった昨年を上回った。300人未満の中小組合（3,677組合）は、12,361円・4.65%（同1,003円・0.20ポイント増）であった。規模計と中小組合のいずれも昨年同時期を上回っている。
- 賃上げ分が明確にわかる3,594組合の賃上げ分は11,727円・3.70%（同1,033円増・0.14ポイント増）、うち300人未満の中小組合2,285組合の加重平均は9,468円・3.49%（同1,212円増・0.33ポイント増）で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降の最終集計結果と比べ、最も高い。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給66.98円（同4.28円増）、昨年同時期を上回った。時給の引上げ率（概算）は5.81%で、一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- 企業内最低賃金協定改定の回答額は着実に上昇している。
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても引き続き数多くの取り組みがなされている。

連合北海道は、7 月 3 日（月）17 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 190 組合中 185 組合が妥結した(97.3%)。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は 175 組合、集計人数は 48,164 人であった。
- 月例賃金の加重平均は、13,736 円・4.91%（昨年同時期比 1,028 円・0.40 ポイント増）の引き上げとなり、同様の集計を始めた 2016 年闘争以降で最も高い数値となっている。
- 回答を引き出した 175 組合のうちベースアップ分が明確にわかる 145 組合のベースアップは、9,432 円・3.40%（同 682 円・0.53 ポイント増）となった。

【組合規模別賃上げ状況 2025 年 7 月 3 日 連合北海道集計】

組合規模	集計 組合数	対象組合 人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	81	3,769 人	11,462 円(4.71%)	8,978 円(3.77%)	2,484 円(0.94%)
100～299 人	54	9,067 人	12,195 円(4.68%)	11,887 円(4.86%)	308 円(▲0.18%)
300 人未満計	135	12,836 人	11,978 円(4.69%)	10,838 円(4.46%)	1,140 円(0.23%)
300～999 人	31	15,064 人	14,653 円(5.36%)	12,826 円(4.86%)	1,827 円(0.50%)
1,000 人～	9	20,264 人	14,083 円(4.74%)	13,321 円(4.34%)	762 円(0.40%)
300 人以上計	40	35,328 人	14,306 円(4.99%)	13,178 円(4.52%)	1,128 円(0.47%)
計	175	48,164 人	13,736 円(4.91%)	12,708 円(4.51%)	1,028 円(0.40%)

◎2025 春季生活闘争の北海道集計は 8 月末が最終となっております。要求・回答・妥結情報を連合北海道 2025 春季生活闘争本部までお知らせ下さい。(Fax:011-272-2255)